# 中部リウマチ投稿・発行規定

(2021年9月改訂)

投稿資格 投稿者は本会会員であることを要する。

- 発 行 年間2号刊行する。原稿は常時受け付けるが、掲載は原則として原稿の採択順とする。
- 内 容 リウマチ学およびこれと深く関連した領域の論文または記事とする。論文の種類は総説、原著、症例報告 とし、記事の種類は委員会報告、集会記録、その他とする。総説などは編集委員会が著者を選定し依頼す るが、会員からの投稿も検討の上適当と認めれば採用する。投稿論文は未発表のものであり、他誌に掲載 予定で無いものに限る。
- **倫理規定** 臨床研究は、世界医師会によるヘルシンキ宣言、および厚生労働省が提示する「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守しなければならない。論文内容が動物実験である場合は、医学生物学的研究に関する国際指針の勧告に準拠する必要がある。以上の遵守を投稿時に確認し、著者が所属する施設等の倫理審査委員会またはそれに準じた機関の承認を受けた旨を、本文中に「本研究は当該施設倫理審査委員会の承認を得た」等と明記すること。同時に、日本外科学会のプライバシー保護ガイドライン「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を遵守し、患者または被験者の人権を損なうことのないよう個人情報保護に留意した記述でなければならない。
- **審 査** 投稿論文の採否は、査読者の意見を参考とし編集委員会が決定する。その際論文内容の加除訂正を求める ことがある。
- 著作権 中部リウマチ学会誌掲載後の原著論文の著作権は本学会に帰属し、中部リウマチ学会誌掲載後は本学会の 許可無くして他誌に転載することを禁ずる。著作権に関して、主著者および共著者全員が署名し押印した、 別に定める同意書を提出すること。この同意書の様式は、論文採用決定後に本学会事務局から送付する。
- **利益相反の開示** 投稿論文の内容に関して利益相反の有無を明示すること。下記9項目のいずれかに該当する場合に は、関係した営利企業・団体名を明記する。
  - 例) 利益相反なし。利益相反あり 本研究に関する費用は(企業名・団体名)が(一部)負担した。
- ①1つの企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの報酬が年間100万円以上である。
- ②1つの企業の1年間の株式配当が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有している。
- ③1つの企業や営利を目的とした団体から特許使用料として支払われた報酬が年間100万円以上ある。
- ④1つの企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料などが年間合計50万円以上である。
- ⑤1つの企業や営利を目的とした団体からパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料が企業・団体から年間 50万円以上ある。
- ⑥1つの企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(委託受託研究、共同研究)などが年間200万円以上ある。
- ⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金(奨励寄付金)などがある。
- ⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座がある。
- ⑨ 研究とは無関係な旅行、贈答品などが年間5万円以上ある。

#### ●原稿の形式(総説・原著・症例報告)

# 1. 原稿:

原稿は、ワードを用いて標準余白でA4 判用紙に横書き、12ポイント、行間隔 2 行とする。原則として新仮名遣い・常用漢字を用い、アルファベットおよび数字は半角に詰めて打つ。和文・英文共に可とする。

# 2. 原稿の長さ:

原則として次のとおりとする。総枚数には本文・利益相反・謝辞・文献・図表を含める。図表、写真は1点当たり 400 字と換算する。総説・原著:総文字数 12,000 字以内、うち図・表 6 点以内。症例報告:総文字数 8000 字以内、うち図・表 5 点以内。

# 3. 表 紙:

論文の種類(総説、原著、症例報告)、表題(日本語と英語)、著者名(代表著者を筆頭とし、日本語と英語)、所属

機関名(日本語と英語)、Key words(英語で5語以内、アルファベット順)、本文・図(写真)・表の各枚数を書き、連絡先、電話番号、編集者への希望事項を記載する。

#### 4. 抄 録:

総説の場合のみ、目的、特徴、結果などにつき300~400字の和文抄録を作成する。全ての論文において英語抄録を作成して提出する。総説・原著については、Objectives,Methods,Results,Conclusions 等項目別に総計200 words 以内に簡明にまとめる。症例報告については、75 words 以内に概要をまとめる。

### 5. 本 文:

ワードを用いて、適当な箇所で改行し、段落は長くならないようにする。学術用語は国際的に認められたもの、 日本医学会または構成関連学会で定められたものがある場合はそれによることとし、数字は算用数字を用いる。

<u>略語</u> 最初に出現したときに完全な綴りを記し、カッコ内に省略名を記した後使用すること。英語の省略を示すピリオドは付けない。また略語はできるだけ国際的に定められているか、広く使用されているものを用い、濫用を慎むこと。

<u>外来語、人名、動植物名、薬品名</u> 和文中の外来語は原語またはカタカナを(同一語はいずれかに統一のこと)、 人名は原語を、動植物名はカタカナを、薬品名は化学名または一般名を原則として用いる。欧字原語は本文の 文頭、英・仏語の固有名詞、独語の名詞を除き原則としてすべて小文字を用いる。

単位符号・記号 CGS 単位により、省略記号(.)を付けない。

[例] 長さ・面積・容積:Å nm mm cm² cm³ μL L mL dL

質量・時間:μg g μsec msec min hr 分 時 秒

その他 モル濃度:M mM μM 放射線量:rad Gy 放射能:cpm 危険率:p

補体:CH50 C3 Clq 水素イオン濃度:pH 毎分回転数:rpm

#### 表記上の注意点

- ① 数字、記号、略語、単位符号などは2 行に分離しないように書く。また、英単語が2 行に分かれる場合はハイフンをつける。
- ② まぎらわしい文字や記号は明瞭に記すこと。(特に混同しやすい字には小さくフリガナなどをつける)。
  - [例] -(ダーシ) と-(ハイフン)、肩付き・下付きの小さな字(例:125I, C5 $\alpha$ )、アルファベットの同型の大文字と小文字、英字とギリシャ文字および数字など(例:aと $\alpha$ , Bと $\beta$ , uと $\mu$ , xと $\chi$ )、1(数字)とL(エル)、0(数字)と $\alpha$ (オー)、 $\alpha$ (数字)と $\alpha$ (タイム=倍)
- ③ 数値等の間隔は「~」で表す。ハイフンで代用しないこと。〔例〕3~51, A~C

# 6. 文献:

検索可能な印刷物に限る(施設内資料等は不可。)引用順に番号を付し、本文中の引用箇所に番号を片カッコをつけ 右肩上に記入し、末尾に本文とは改頁して文献表を付す。文献の記載は下記による。

- ① 記載順: [雑 誌] 著者名(姓を先に). 論文名. 雑誌名 発行年;巻数:ページ
  - [単行本] 著者名(姓を先に). チャプター名. 編者. 書名. 版. 発行地: 発行者(社); 発行年. 引用ページ.
- ② 共著者および編者が多数の場合は3 名まで連記し(姓を先に)、あとは"他."、"et al."を付す。
- ③ 英仏語の論文名は文頭のみ大文字にする。
- ④ 欧語の単行本の場合は、チャプター名を③と同様に書き、編者の前にIn を付け、書名の各頭文字を大文字にする。
- ⑤ 単行本の発行所が複数ある場合は最初の発行地または本社のある所を採る。
- ⑥ 外国雑誌の略称はIndex Medicus による。
- ⑦未発表の文献を引用する場合には、当の雑誌に採択されていること (accepted) を要する。この場合最後に「(印刷中)」を付し、できる限り完全な記載(共著者名,論文名,雑誌名,巻,号,ページなど入れて)が望ましい。
- ⑧氏名、誌名の省略のピリオドは付けない。
- ⑨電子ジャーナルの場合は、最後に doi. を入れる。

著者名(姓を先に). 論文名. 雑誌名 発行年;巻数:ページ. doi.

巻数やページが付与されていない場合は、

著者名(姓を先に). 論文名. 雑誌名 発行年. doi.

#### 〈雑 誌〉

- 2) 花山花男, 菊池 薫, 原 緑, 他. 慢性関節リウマチの心機能:心エコーによる検討. リウマチ 1971; 3: 363-72.
- 9) Soter NA, Wasserman SI, Austen KF. Cold urticaria: release into the circulation of histamine and eosinophil chemotactic factor of anaphylaxis during cold challenge. N Engl J Med 1976; 294: 687–90.

#### 〈単行本〉

- 10) Sox AC, Hood I, Bush A, et al. Assessment of chronic pain: degenerative joint disease. In: Doyle BD, Powel H, Cone AC et al. eds. Rheumatology, Vol. 2. Rehabilitation of Rheumatic Diseases, 3rd ed. Tokyo: JRA Press. 1991. 100–10
- 11) Funamura K, Ishikawa H, Kakutani R, et al. Functional reconstruction of a hand that was severely deformed due to Jaccoud's arthropathy. Mod Rheumatol Case Rep. 2021 Jul; 5 (2): 448–452. doi: 10.1080/24725625.2021.1920718. Epub 2021 Jul 13

### 7. 図表,写真

- ① 図・表中の語および題は、和英いずれかに統一する。ただし、邦語で統一する場合でも和訳が定着していない 用語は原語のままでよい。また、文字は読みやすい大きさにすること。
- ② 図・表には題および説明をいれ、1図1枚、1表1枚でまとめる。表の番号および題を表の上に(「例〕表1・・・・・)、注釈は下に書く。図の番号および題は、図の下に記載し、説明文をその下に入れる。(「例」図1・・・・・)英語の場合、文頭と固有名詞以外は小文字にする。
- 図表:1)写真は図の中に含める。ただし、写真の点数は表紙に必ず記載する。
  - 2) 手札判以上のサイズで、鮮明に出力できるものでなければならない (解像度 300dpi 以上)。
  - 3) 顕微鏡写真は必要な諸条件(染色法、拡大率など)を明示する。拡大率は撮影倍数を記載するよりも画面に縮尺を入れる方が望ましい。
  - 4) モノクロで印刷する場合はモノクロ写真を提出する。カラー写真は好ましくないがやむをえず使用する場合は、表紙にモノクロ印刷を希望する旨記載すること。
  - 5) カラー印刷を希望する場合は、表紙下部にその旨記載する。カラー印刷費用は著者の負担とする。金額については学会事務局に事前に問い合わせること。

### 8. 投稿方法:

原則として専用サイト(本学会ホームページ会員専用サイト内論文投稿ページ)から電子投稿する。あるいは、全て (表紙、抄録、本文、図表等)のデジタルデータを事務局編集委員会にメールで送付する。

### 9. 審 查:

投稿論文の採否は、査読者の意見を参考とし編集委員会が決定する。その際論文内容の加除訂正を求めることが ある。掲載順は、原則として原稿の採択順とする。

## 10. 校正:

通常は初校のみを著者校とする。この際原則として誤植の訂正(図も含む)以外の加除修正を行ってはならない。 著者再校を希望する場合には初校返却時にその旨申し出ること。

### 11. 掲載料・別刷:

掲載料・別刷:掲載料は無料とする。別刷は20部まで無料、20部以上は実費を請求する。初校校正時に必要別刷数を明記する。指定のない場合は20部として取り扱う。(本規定は、2021年11月1日以降の投稿分より適用する。)

# 中部リウマチ学会事務局 編集委員会

〒 466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 運動・形態外科学講座 整形外科学教室 内 E-mail: mh-sai@med.nagoya-u-ac.jp